

(第2回検討委員会議題)

◆教育をめぐる現状と課題(項目)◆

- 人口減少社会・少子高齢化
- 情報化の進展
- 学力・体力
- 震災後の心のケア
- いじめ・不登校
- 家庭の経済状況
- 特別支援教育・食物アレルギー
- 幼保・小連携
- 高校生の就職率
- 外国人児童生徒
- 社会教育・歴史文化

◆国の教育制度改革の主な動き◆

- 学習指導要領の改訂
- 道徳・小学校英語の教科化
- 次世代の学校・地域創生プラン
- 「学び続ける」社会、全員参加型社会
- フリースクール等学校外教育機会の位置づけ
- 学校をプラットホームとした貧困対策
- チームとしての学校

◆教育の振興に関する施策の大綱◆

- いじめ撲滅に向けた施策の総合的な推進
- 復興後を見据えた教育の推進
- 人口減少社会に対応した教育の取組み

(第3回検討委員会議題)

◆第1期計画の主な課題◆

- 地域連携の核となる人材の確保・育成・資質向上
- 小学校から中学校への円滑な移行の効果的な取組み
- いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底
- 不登校児童生徒へ計画的支援
- 食物アレルギーへの適切な対応
- 望ましい運動習慣・食習慣の形成
- 障害のある幼児児童生徒への実態に即した支援
- 学校現場のさらなる負担軽減と校務効率化
- 教職員の力量・資質の向上
- 共働き家庭増加に伴う親の学ぶ機会の一層の充実
- 施設運営を支える職員やボランティアの資質向上
- 震災を含めた仙台の歴史を未来に受け継ぐ取組み
- 情報教育の陰の部分への一層の対応
- 大学や企業連携の一層の推進
- 学校支援地域本部と生涯学習事業の効果的な展開
- 老朽化した施設の計画的改修
- ICT環境の整備と子どもの情報活用能力の向上

(第2回・第3回検討委員会における主な意見)

基本的方向1 子どもたちの可能性を広げる学校教育を実現する

- 学校と地域のつながりの強化
 - ・学校支援地域本部のさらなる充実
- 子どもの学力向上
 - ・ICT教育の充実
 - ・小学校英語教育への対応
- 切れ目のない教育
 - ・幼保・小連携, 小1生活・学習サポーターの配置
- 子どもの体力向上・生活習慣の定着
 - ・小学校における体育専門教員の配置
 - ・運動能力向上(骨折率)・食育等生活習慣の定着(肥満率, 睡眠)
- 子どもの豊かな心の育成・心のケア
 - ・心と命を守り育む教育の推進
 - ・いじめ不登校対策の充実
 - ・震災後の中長期的な心のケア
 - ・犯罪被害・非行防止対策の充実, 危機管理能力・規範意識の向上
 - ・自己肯定感・自己有用感の醸成
- 社会の変化に対応できる教育
 - ・「社会に開かれた教育課程」の実現
 - ・自分づくり教育のさらなる推進
 - ・防災教育の充実
- 支援が必要な教育の充実
 - ・特別支援教育(インクルーシブ教育等)の推進
 - ・外国人児童生徒への対応
 - ・食物アレルギー対応食提供の充実
- 教職員の資質向上・子どもに向き合える体制づくり
 - ・教職員の負担軽減の取組み
 - ・即戦力となる教員育成

基本的方向2 家庭での親と子の学びを応援する

- ・親子がふれあう時間の充実
- ・保護者の相談支援体制の充実(スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー)
- ・家庭と地域の教育力の低下
- ・家庭生活・家庭環境の変化への対応, 子どもの居場所の確保

基本的方向3 市民一人ひとりの学びの活動を広げる 基本的方向4 人と社会をつなぐ豊かな学びを創出する

(意見なし)

基本的方向5 「学びのまち・仙台」を支える基盤を充実させる

- 学びの環境の充実
 - ・学校や社会教育施設の長寿命化や適正な保全・更新
 - ・避難所における情報拠点整備
 - ・学びを支える人材の充実
 - ・ICT環境の整備(タブレットPC配備等)

その他の意見

- ・震災を契機とした世代間交流
- ・郷土愛・帰属意識を高める取組み

施策の方向性(案)

1 仙台のカラー・独自性

仙台ならではの「学び」の充実
「仙台ならではの学び」や「仙台の強みをいかした教育」「これまでの課題を教訓とした取組み」など、新たな視点による方向性
【後期5年で重点的に取組む施策】

2 地域・家庭

「学びのまち・仙台」を支えるネットワーク
学校を中心とした地域・家庭が連携・協働し、共に地域の学びと子どもの成長を支える方向性
【基本的方向1, 2, 3, 4から分離統合】

3 生涯学習

資源をいかした“みんなの学び”
市民一人ひとりの学び, 人と社会をつなぐ豊かな学びを広げ, すべての市民が生き生きと仙台に暮らす生涯学習に関する方向性
【基本的方向3と4を統合】

4 学校教育

切れ目のない“子どもの学び”
幼児期から切れ目なく知・徳・体をバランスよく身に付け, 社会を生き抜く力, 自ら学びに向かう力を育み, 多様な個性が生かされる学校教育に関する方向性
【基本的方向1継続(精選)】

5 教育環境

「学びのまち・仙台」を支える土台
教職員がこれまで以上に子どもたちに向き合える体制づくりを進め, 学校・社会教育施設やICT環境を整備し, 学びのセーフティネットを充実させる, 教育環境に関する方向性
【基本的方向5継続+その他方向から集約】